

2022 年 新年号

「」
INFOCUS
NEWSLETTER
」

If you will go [to the edge] with your awareness,
and stay there, or return there, that is all it needs;
it will do all the rest for you.

Eugene Gendlin

あなたが意識をもって（エッジに）向かい、
そこにとどまること、あるいはそこに戻っていくことこそ、
それが必要としていることのすべてなのです。
あとのことはすべて、それがあなたのためにやってくれます。

ユージン・ジェンドリン

目次

- ・ 会員の公平性
- ・ フォーカシング会議 in フランス – 早期登録がもうすぐ終わります
- ・ ハローハロー
- ・ 「もっとも貴重なルーム」フェルトセンス会議を振り返って
- ・ 2022 年 TIFI の方針
- ・ みなさんは今回も達成しました！
- ・ 2021 年に寄付をしてくださったみなさんに感謝します
- ・ 2021 年のボランティアのみなさんに感謝します
- ・ ポーラ・ノーウィック、ありがとう
- ・ マイルストーン

会員の公平性



この度、新しい会員制・認定制の料金体系がスタートしました！

理事会、国際リーダーシップ評議会、そしてメンバーシップ委員会では、会費および認定料金の改定を提案し、賛同を得ました。今回の改定の目標は、我々の料金体系をより公平で、より透明性の高いものにする事です。

国際フォーカシング研究所は以前から、メンバーがどこに住んでいるかによって会員資格や認定にかかる費用を変える必要があると認識していました。それは各国の経済や通貨に大きな格差があるためです。米国の会員は常に高い会費を払ってきました。また“グループ2”に属する国々は米国の会費の約75%を支払い、“グループ3”の国々は約50%を支払ってきました。

より公平であるために、我々はさらに3つのグループを加えました。なぜならば米国の経済力の50%をはるかに下回る多くの国があるからです。新グループ（グループ4、5、6）は、それぞれの国の経済状況に合わせて、米国の会費のより低い割合で会費を支払います。

より透明性を高めるために、我々は一人当たりの国民総所得（GNI）に基づいて、各国のグループ分けを行いました。完璧な方法はありませんが、この方法はより透明性を高めることができます。これまででは、いくつかの経済の強い国がグループ3にあり、より経済の弱い国がグループ2にあるのはなぜかが明確ではありませんでした。また、時間の経過とともに、ある国の経済が強くなったり弱くなったりすることもあります。この方法は、ある国を一つのグループから別のグループに移すかを見極めるための一つの方法を提供してくれます。

この書類 (www.focusing.org の“メンバーシップ”のところにある) は新しいグループ分けを示しています。

なお、我々はこのグループでも会費を上げてはいません。ほとんどすべての国にとって、今回の改定は会費の変化がないか、あるいは（より低いグループ分けを加えたために）より低くなります。2つの国（イスラエルと中国本土と香港）は以前よりもより高いグループにカテゴリー化されました。

これらの改定に賛同してくれた人たちに感謝します。これは“インターナショナル”という名に恥じないように、より誠実に生きていくための努力の一つの重要な部分です。多くの人が、正しく正当な方法で体重を支えていることを知るの気分が良いと言ってくれました。

われわれの新しい会員制についてのいくつかの質問にお答えします。

1. 私の会費は予告なしに上がりました。古い会費で払ってもいいですか？ イスラエルと中国（本土と香港）の人たちには、この改定が予告なく行われたので、2021年の会費で払うことを受け入れま

す。2023年はいより高い会費を払えるように予算化していただきたいと思ひます。

2. この料金では払えない場合はどうすればいいですか？ 年会費については、私たちは会員とのつながりをとても重視しています。会員の利用可能なリソースに基づいて、いつでも一緒に仕事ができることをうれしく思ひます。認定料金については、一括払いが困難な場合は、長期にわたって払うことを支援するという方針です。

3. なぜ尺度として国民総所得（GNI）を使うのですか？ 私たちは個人（あるいはグループ）の支払い能力を決定する多くの要因があることに気づいています。収入は要因の一つにすぎません。他の要因には、医療費が低額であるか、失業者の国による保護、あるいは家族の豊かさがあります。透明性という目標を達成するために、我々は測定のための一つの手段を選ばなければなりませんでした。我々にとって国民所得のレベルは、より透明性と公平さを提供するための十分な尺度です。

4. TIFIの多くのメンバーはそれぞれの国の上流階級の人なので、もっと払うことができるのではないのでしょうか。それを考慮すべきではないのでしょうか？ 我々にとって重要なことは、リソースの少ない人もアクセスしやすい会員制を作ることです。もしわれわれの料金体系以上のリソースに恵まれている人がいるならば、会費や認定料金に加えて寄付して下さることを歓迎します。

5. 会費は毎年、改定されるということでしょうか？ これらのグループ分けは毎年ではありませんが、数年おきに見直したいと考えています。

新しい料金の詳細については、focusing.org/membership にアクセスし、"Click for Membership and Certification Prices."を選択してください。

（訳：酒井久実代）

早期登録&ワークショップのお知らせ（2月28日まで受付中）
（コーディネーター会議 6月20日～21日）



国際フォーカシング会議「意識的なからだ (The Conscious Body)」の早期割引料金（ワークショップ申し込みの受付も含む）は、**2022年2月28日**で終了します。会議はフランスの美しいアルデッシュのルー・キャピテル・アンド・スパで、**2022年6月22日から26日**にかけて開催されます。

この機会をお見逃しなく、今度こそ再びご一緒しましょう。6月に無事にご一緒できることを願っています。

重要なお知らせ：会議に申込みされた方は、第2ステップとして、ルー・キャピテルでの宿泊先確保もできているか今一度ご確認ください。これは会議の申込みとは別で行う必要があります。**2月28日以降は、会議への申込みは可能ですが、空きがある場合に限り**ます。

コーディネーターの方へ

6月20-21日のコーディネーター会議には追加料金はかかりませんが、宿泊日数が増えるため、その分の費用がかかります。ぜひご参加ください。

詳細とお申し込みは、下記をクリックしてください。

申し込みに関する情報

（訳：榊原佐和子）

ハローハロー

マリアナ・ピスラとモニカ・リンドナー

2021年を通じて、メンバーシップ委員会は、新しいプロジェクトである“ハローハロー”に取り組んできました。“ハローハロー”の理念は、フォーカシングを知っている、あるいはしばらくの間、一人で実践していて、私たちの国際的なコミュニティに入ることを求めている人たちをつなげることで、このプロジェクトは、そこにいる他のフォーカサーを見分けて、引っ張り上げます。

私たちはこの機会を使って、ユージン・ジェンドリンの視点から“ハローハロー”の物語を伝えたいと思います。ジェンドリンはどこかを歩くときはいつでも、その参加者だけでなく、それらの参加者のすべての側面に“ハローハロー”と言いました。すべてが受け取られて、そしてすべてにスペースがありました。すべてとは、恐れ、不安、悲しみ、喜び、痛み、思考、感情、感覚です。ジェンドリンが出会ったものに挨拶をするのはこのためでした。彼はすべてのものに名前をつけて、それを感じ、聴くためのスペースを与えていました。最も注目すべきことは、ジーンが人と別れるときに、たとえ立ち去るとしても相互作用は続くように、“グッバイ”と言う代わりに“ハローハロー”と言ったことです。

モニカ・リンドナーとマリアナ・ピスラは、第1回目の“ハローハロー”会議を11月27日に、スペイン語、ドイツ語、英語で招集しました。10の異なる国から22名の人に参加し、自分は誰で、何をしていた、どのようにフォーカシングを見つけたか、そして大切にしていることは何かを教えてくださいました。会議はプロジェクトの紹介から始まり、続いて各参加者が発表しました。

私たちは、参加者が自身のフォーカシング経験を共有し、TIFIや世界中のフォーカサーに出会えたことへの感謝の言葉を聞くことができ、とてもうれしく思いました。

“ハローハロー”は続き、私たちは新しい人たちと出会うことを楽しみにしています。なぜなら、フォーカシングが世界中でどのように広まっているかを聞くことは私たちにとって大切なことだからです。

もし、私たちに聞きたい質問や問題がありましたら、以下のアドレスにメールをください。

membership@focusing.org.



モニカ・ピスラは認定フォーカシング・トレーナーです。彼女は悲嘆のカウンセラーとして働いています。



モニカ・カタリーナ・リンドナーは認定フォーカシング・トレーナーで、体験的概念コーチです。フォーカシングとTAEを教えています。彼女はドイツ語のコースのプロジェク・マネージャーとして働き、教育学者として研究に従事しています。

(訳：酒井久実代)

「もっとも貴重なローム (A Most Precious Loam)」
第3回フェルトセンス会議 (テーマ: からだで感じられる解放
ーフェルトセンスと社会正義 (Embodied Liberation: the Felt Sense & Social Justice))

2021年12月3-5日) を振り返って

ガブリエル・ホフマン



2021年のフェルトセンス会議は、フォーカシングコミュニティの多くの人々が集まり、人類と地球上のすべての生命の多様性のために、希望、アイデア、センシング (sensing)、より良い未来への祈りをサポートし、分かち合うものでした。ライブと録音の両方で参加してくれたすべての参加者を誇りに思っています。世界各国から150名以上の申込があり、30名以上の方がワークショップで発表しました。実行委員会のメンバーとして、会議を企画し、会議に参加し、そして今振り返ってみるとそのプロセスに携われたことを光栄に思います。今、この文章を書いていると、猫の鳴き声のような、ハーブの弦をかき鳴らすような、喉の奥がざわざわするような感覚に襲われます。

フェルトセンス会議の2日目の夜、とても充実した2日間を終えて眠りにつこうと目を閉じると、「もっとも貴重なローム」という言葉が浮かんできました。大切な言葉だと思い、書き留めました。そして、「ローム」って何だろう?と調べてみると、「粘土や腐植を含んだ肥沃な土」という意味でした。それ以来、私はこの会議が、私たち個人やコミュニティの土壌を肥やし、より良い収穫に向けて前進するための種を植えるどれほど特別な場であったのかということに思いを巡らせています。

リルケは『見ている人 (The Man Watching)』という詩の中で、こう書いています。

「…遙かな野原から聞こえてくるのは (... I hear the far-off fields say things)
友人なしでは耐えられない (I can't bear without a friend)
親しい女性なしでは愛せない (I can't love without a sister.)」

フェルトセンス会議には、遠くのフィールド、社会のフィールド、政治のフィールド、地球のフィールド、気候のフィールドに耳を傾ける人たちが集まりました。そして、聞くことが難しいことは耐えることがとても難しく、それとともに時間を過ごすことはもっと難しく、そこで出会うものを愛することはさらはずっとずっと難しいのです。抑圧の苦しみ、傷つけられた悲しみ、持続可能な生き方への切望といった社会正義のフィールドにおける抑圧的なパターンに向き合い、深く入り込み、変えていくのは簡単なことではありません。私たちがこの困難な地を旅していくためには、サポート、特に会議で培われたよう

なコミュニティのサポートが必要なのです。

この会議で一緒になることで、私たちは個人的なことがどれほど政治的なものであるかを探求するための、優しく勇敢な空間を作り出しました。私は、食べ物の過不足と自分がどのように関わっているのかさらに学びました。緊張や恐怖を感じたときに、自分の体を助けるためにクラゲのように動くことを学びました。白人至上主義がどのように私の中に生きているかを感じ取り、自らの偏見を変化させるために、どのように自分自身にコンパッションを向けることができるかを学びました。そして、私の中にまだ生きている祖先の涙に耳を傾け、その腕が私を支えてくれていることを知りました。まだまだ続きます！より大きなフィールドを感じるためのアイデアや創造的なエクササイズを分かち合う、心ある人々がたくさんいました。

ジェンドリンが「私たちはお互いに関係している」と言っているのを聞いたことがあります。その意味の一つは、生物は暗黙のうちに社会様式を含んでいるということです。もしその社会様式が私たちや他の人たちを抑圧するならば、私たちは古い形式が私たちの中でどのように生きているかを認識し、それを変化させることによって、その古い形式に抵抗することができるのです。そして、ジェンドリンは、「私たちが意識することができたとしても、フォーカシングのプロセスが、私たちが打ち負かしたいと思うすべての押し付けられた社会様式をすべて元通りに取り払ってくれると確信することはできない」と指摘しています。ジェンドリンは、私たちが当たり前だと思っていることに疑問を持つことができるようになるために、「政治的な意識」を発達させるように助言しています。第3回フェルトセンス会議で、私たちは「政治的自覚」を育て、より大きな場に耳を傾けるためのさまざまな方法を共有しました。

内面化されている抑圧の形を変化させるために、私たちがより大きな意識を持ち続けることができますように。そして、私たちがフェルトセンスをより大きな意識の中に取り込み、私たちの解放へ向かう動きを世界へ向けて発信し続けられますように。

以下は、カンファレンスで私の心に響いたフレーズを、初日の冒頭から3日目の終わりまで、聞いた順に並べたものです。

- ・ 分からないところに希望がある。
- ・ 沈黙そのものが政治的である。
- ・ 個人の一步一步が必ずしも経済システムを変えるとは限らない。
- ・ 感情は社会構造と無関係ではない。
- ・ 内なる批評家は、個人的、社会文化的、経済的、政治的、宗教的な次元を持っている。
- ・ プレゼンスは抑圧的な構造に対抗する方法である。
- ・ フォーカシングは世界における相互作用である。
- ・ あなたの声は重要である。
- ・ 苦しみは変化への呼びかけである。
- ・ 無理強いせず、より多くの葛藤を生み出さずに、どうすれば変化を起こせるのだろうか？
- ・ フェルトセンスは極めて個人的なものである。では、どうやってムーブメントを作り、合意を形成するのだろうか？
- ・ 感じを感じるによって、新しい方法で矛盾に対応することができる。
- ・ 社会正義を実体のあるものにし、疎外されている人たちの声に深く耳を傾けるにはどうしたらいいだろうか？
- ・ はじめから終わりまで、共にセンタリングします。

- ・ 西洋の植民地化は、私たちが誰であるか、そして私たちの多様性の形がどのように生まれたかに影響を与えています。
- ・ 身体の実実に寄り添う。
- ・ ノンバイナリやトランスの人たちは、私たちが知っている以上にジェンダーのカテゴリーには多くの余地と柔軟性があることを教えてくれています。
- ・ フォーカシングはとても奇妙 (queer) です。そのため中間にあるスペースを見つけます。
- ・ 私たちがどうしたらいいかわからないことをするのは、前進することです。
- ・ フォーカシングは、解放の空間を開くことです。
- ・ あなたにとって「不公正なシステムの破壊」とは何ですか？
- ・ 何かを生み出すもの、そして喜びと祝福に満ちたものへと押し進み、自分の不快感について好奇心を持つこと。
- ・ 癒しとは、愛するコミュニティの中で目撃することです。
- ・ この空間の神聖さ。
- ・ 先祖を呼び寄せること、それがどんな意味であれ、私たちの存在の先祖的なものを呼び寄せること。
- ・ これは大変な作業で、重いものです。
- ・ 人種差別は、私たちの社会構造、そして人間としての私たちが捻じ曲げ、腐敗させました。
- ・ おそらく、私たちは「他者化 (othering)」の反対を感じるができるのでしょうか。
- ・ 私たちは自分自身に対して他者となるのです。
- ・ あなたの自由と私の自由は結びついているのです。
- ・ フォーカシングのコミュニティでは、私のような人はあまりいません。
- ・ ここにはもっと黒色や褐色の肌の人の顔があるべきです。
- ・ 私はあなたの声を聞き、あなたを見て、そしてあなたに感謝します。
- ・ 私たちはそれぞれ、社会から来る切望や含意を持っていますが、それはあなた独自の形です。
- ・ 切望は、壊れているものを直すということではありません。
- ・ お互いに自分たちの恐れや間違いを所有すること。
- ・ 尊厳は人間関係の中心である。
- ・ 道がないところに道を切り開く
- ・ 私たちは、認められたときに立ち上がる。
- ・ 夢の仲間を維持する
- ・ フォーカシングは尊厳の土壌を作ること。
- ・ コンパッションは自然なもので、根源的に含まれているものである。
- ・ 希望は being であることに耳を傾けるところから生まれる。

(訳：榎原佐和子)



ガブリエル・ホフマン (MSW) は認定フォーカシング・プロフェッショナルであり、ソマティック・ストレス・リリースの実践家です。彼女は、内なる関係のフォーカシング、医療催眠、そしてスピリチュアル・イメージを、社会正義やトラウマに配慮した視点から統合することに情熱を傾けています。

2022年 TIFI の方針



2021年12月の会議で理事会は、2022年のTIFIの重点活動リストを承認しました。この重点活動は、理事会メンバーの担当活動目録を中心に形成されています。

財政：持続可能性。 予算は道徳的文書で、TIFIの価値観と意図を反映したものです。

指名：古い守り手は感謝されていると感じています。新しい人たちは参加する余地があります。新しい人々のための訓練道筋。

善意：コミュニティのメンバーを互いに結び付け、熱意と創造性を育みます。フォーカサーが世界中で行っている刺激的な事柄を伝えます。長老たちを称え新しい守り手たちを祝う、様々な声や物語を紹介共有します。

ジェンドリン・センター：短期的展望：心理学と哲学の分野で学会内で、フォーカシングと、ジェンドリンのすべての仕事が正当に認められるために必要な基礎研究が行われていることを確認します。**長期的展望：**哲学と心理学の研究以外にも焦点を当て始めます。

ジェンドリン哲学は、研究を行う方法についてのものです。哲学と心理学を超えた他の研究分野にも架け橋を築きます。

ウェブサイト：ウェブサイトの開発を継続します。視聴者が目的の内容に到達しやすいようなメニューやナビゲーションも開発します。視聴者としては、既存のメンバー、フォーカシング初心者、哲学研究者、心理学研究者、他の分野の学者、フォーカシング指向心理療法士、FOTを探している人々、TAEやフォーカシングを学びたい人（認定希望者を含む）、英語を話さない人々、寄付者、「フォーカシングと...」に興味のある人々が含まれます。何が役立っているのか知るためにデータ収集も行います。

多様性：白人以外の人々やLGBTQ+やさまざまな言語/文化グループや低収入の人々など、フォーカシングコミュニティへの参加が少ない人々を惹きつけるよう努めます。

私たちは、限られた財源とスタッフ数の中で、多くの活動を行っていることを誇りに思っています。フォーカシングとフェルト・センシングを世界に広げるために、それぞれに貢献してくださっている「そこにいる」すべての皆さんに感謝します。

(訳：日笠摩子)

以下のリストは、2021年からの寛大な寄付者の一部にすぎません。リストのすべてを見るには、[ここ](#)をクリックしてください。

(訳：久羽 康)

Our Anonymous Donors	Baradhi Binay	John Connolly
Amazon Smile	Véronique Blaquart	Therese Conway
Donations	Stephanie Bliet	Ann Weiser Cornell
RSF Social Finance	Annie Bloch	Catherine Cornell
The Canaday Family Trust	Gosia Bochinska	Nick Crawford
Marian Aalberts	Susan Bogas	Constance Cushman
Carlos Aceituno	Maria Bordiga	Justyna Czerniewska
Jerzy Adamski	Danita Branam	Diana Daffner
Laura Aguilar	Rennie Buenting	Paul Daly
Adanna Alexander	Cecilia Burgos	Shana Davies
Marcia Elena Almeida	Marjorie Burnett	Laura Davis
Nadia Almousa	Leonard Burrell	Karen Dawes
Lucia Amarelo	Susan Burrell	Celia Dawson
Evelyn Ammon	Gabrielle Byers	Erna de Bruijn
Teiko Arafune	Lynn Calder	Adam de Jong
Loann Arnaoutov	Calliope Callias	MIriam De Craemer
Bassam Atallah	Cynthia Callsen	Aaffien de Vries
Annecy Baez	Cathryn Campbell	Ingrid De Witte
Lisa Banu	Sicong Cao	Maurizo Del Nero
Liora Bar-Natan	Alessandra Carboognin	Beatriz Delgadillo
Patricia Baranek	Ignacio Casares	Koenraad Dendas
Marcelo Barbosa	Rosa Catoio	Lee Denton
Antonella Barretta	Kathy Cave	Frans Depestele
Liz Barry	Chee Seung Chan	Rituleen Dhingra
Joanne Basha	Mei Ching Mandy Cheung	Barbara Dickinson
Marina Bazhenova	Peter Cheung	Linda Drake
Dorothy Beardsley	Manon Circé	Karin Dubowick
Helene Marie Berg	Judith Cobb	Jennifer Dunbabin
Miriam Berg	Madeline Cohen	Ram Eisenberg
Grace Bergey	Antionietta Colaiacovo	Maya Elron

2021年のすべてのボランティアに感謝します



過去のボランティアの数の最高記録が、またもや更新されました。この年、私たちは467のボランティアの役割を、247人の人たちが引き受けてくれました。素晴らしいボランティアのみなさん、ありがとうございます。37の国からボランティアのみなさんが参加してくれています：アルゼンチン、オーストリア、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、中国（本土、香港、台湾）、コスタリカ、チェコ共和国、デンマーク、エルサルバドル、フランス、ドイツ、ハンガリー、アイスランド、インド、イラク、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、スペイン、スイス、トルコ、イギリス、ウルグアイ、そしてアメリカです。

以下のリストにあるのは、2021年にボランティアで彼らの時間と才能を提供してくれた多くの人々の一部だけです。リストの全部を見るには[こちら](#)をクリックしてください。

(訳：久羽 康)

理事会

Peter Afford
Darryl Commings
Leslie Ellis
Evelyn Fendler-Lee
Nelle Moffett
Paula Nowick
Florentina Sassoli

ILC

Laura Bavalics
Nancy Falls
Sergio Lara
Roberto Larios
Claude Missiaen
Yongwei Xu
Massimo Zarghetta

ジェンドリンセンター委員会

Leslie Ellis
Evelyn Fendler-Lee
Akira Ikemi
Kevin Krycka
Mary Jeanne
Larrabee
João Messias
Rob Parker

メンバーシップ委員会

Mariana Písula
Antony Winiski
Caroline Copestake
Christine Le Coutre
François Roussel
Georgetta Niculescu
Kara Hill
Mary Jennings
Monica Lindner
Roberto Larios
Wendi Maurer
Susan Lennox
Nada Lou

指名委員会

Paula Nowick
Heinke Deloch
Sergio Lara
Nada Lou
Florentina Sassoli

TAE アドバイザリーグループ

Evelyn Fendler-Lee
Nada Lou
Hanspeter Muehlethaler

子供とフォーカシング ADV グループ

Laura Bavalics
Joke Van Hoeck
René Veugelers

ウェブサイト

技術面
Christian Mendenhall
Kat Burgess

ウェブサイト

翻訳
Maria Teresa Belgenio
Sicong Cao
Emmy Parisi
Georgeta Niculescu
Massimo Zarghetta

ラウンドテーブル等

プレゼンター

Chiara Borrello
Sue Burrell
Jenna Chevalier
David del Sole
Annette Dubreuil

(プレゼンターの続き)

Jen Dunbabin
Peter Gill
Mónica Gómez
Galáz Mary
Jennings Ellen
Korman Mains
Özlem Mavis
Karin Mayer
Theresia W. Nestlang
Frank O'Neill
Serge Prengel
Jane Quayle
Margaret Quinn
Luke Raskopf
Susan Rudnick
Martin Schäffner
Heidi Smolka
(cont'd)

ポーラ・ノーウィック、ありがとう



ポーラ・ノーウィックの研究所への献身的な尽力に、感謝の意を表明したいと思います。ポーラは TIFI の理事会で 2 期(およそ 6 年)にわたり尽力し、理事長も務めました。彼女はまた、指名委員会の議長も務めました。この組織は、理事会や国際リーダーシップ評議会 (ILC) のメンバーとしてふさわしい人を選ぶものです。

みなさんの多くは、ポーラが長年にわたって、バラ・ジェイソンとともに FOLIO の共同編集者も務めたことをご存知でしょう。

ポーラは長い間、フォーカシングに多くのエネルギーを注いでくれました。彼女のリーダーシップと温かさは、TIFI やフォーカシング・コミュニティが形づくられる上で多大な役割を果たしてきました。彼女は今後は、執筆中の本を完成させるために退きます。私たちは彼女の取り組みの近況に注目していますし、彼女の活躍を見ることを楽しみにしています。

ありがとう、ポーラ！

(訳：久羽 康)



マイルストーン

今年から、この「マイルストーン」のセクションに、すべての新しい認定者を掲載します。今号では、2021年に認定された167名の人々についてお伝えし祝福いたします。毎月このセクションで新しく認定されたメンバーをお伝えしますので、ご覧ください。

そしていつものように、私たちは以下の新しいコーディネーターとコーディネーター・イン・トレーニングを祝福し、国際フォーカシング研究所に迎えることを嬉しく思います。

みなさんのさらなる取り組みが素晴らしいものとなりますように！

新しいコーディネーター



カルロス・ゴンザレス・ペレス、スペイン在住 [スペイン語](#)

指導コーディネーター：イサベル・ガスコン・サポートチーム：トメオ・バルセロ、ロサ・マルティネス

カルロスはマドリードのコンプルテンセ大学を卒業した心理学者です。彼は個人開業で20年間にわたり、子どもや思春期や家族を含むトラウマ・ケアに携わってきました。カルロスはスペインのフォーカシング協会のデジタルマガジン（In-Focus）のディレクターを務めています。彼の関心は、愛着理論、トラウマ研究、そしてフォーカシングのプロセスがもたらす体験的な深さを結びつけることにあります。彼はセンサリー・アウェアネス、マインドフルネス、ボディ・セラピーといったさまざまな分野の実践家であり、彼はそれを自分の専門的実践に統合しています。

新しいコーディネーター・イン・トレーニング

Boaz Shavit, イスラエル 指導コーディネーター：イファト・エクスタイン

Yael Ronen Shavit, イスラエル 指導コーディネーター：イファト・エクスタイン

2021年に新しく認定されたメンバーとそのコーディネーター

Daniela Antonieta Abufhele Meza, Canada,
Charlotte Howorth

Shahar Amergi, Canada,
Charlotte Howorth

Claudia Andersag, Israel,
Yiscah Schumer

Jessica Anderberg, Canada,
Leslie Ellis

Ortal Almog Ziv, Argentina,
Monica Perez Iturraspe

Shlomit Arbel Emanuel, Israel,
Chen Ein Habar

Pedro Alonso Areses, Japan
Hideki, Kamimura

Anamaria Aristizabal, Canada,
Leslie Ellis

リストのすべてを見るには[こちら](#)をクリックしてください

(訳：久羽 康)

